



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE横浜2022年版v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	吉原小学校 建替工事	階数	地上4F
建設地	横浜市港南区日野二丁目20番40	構造	RC造
用途地域	第1種低層住居専用地域、準住居地域、準防火地域、防火地域 指定GL	平均居住人員	800 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月 予定	評価の実施日	2023年12月30日
敷地面積	11,417 m <sup>2</sup>	作成者	(株)みかんぐみ
建築面積	3,227 m <sup>2</sup>	確認日	2024年1月30日
延床面積	7,413 m <sup>2</sup>	確認者	(株)みかんぐみ



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 79%

③上記+②以外の: 79%

④上記+: 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.3

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
環境負荷軽減、バリアフリーに留意した計画の小学校である。	
<b>Q1 室内環境</b> 居室の環境について、開口部遮音、昼光利用、自然換気を留意した計画としている。	<b>Q2 サービス性能</b> 維持管理にかかる部材等の耐久設計において、標準的な仕様を計画している。
<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 建物を道路からセットバックして計画、建物高さを抑制し、周辺への圧迫感を抑える計画としている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率低減、近隣への日影の影響について標準的な取り組みを実施している。
<b>LR1 エネルギー</b> 高効率機器の採用、外皮性能を向上させる計画により、消費エネルギーの抑制に特段配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水器具の採用による水資源の保護に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい



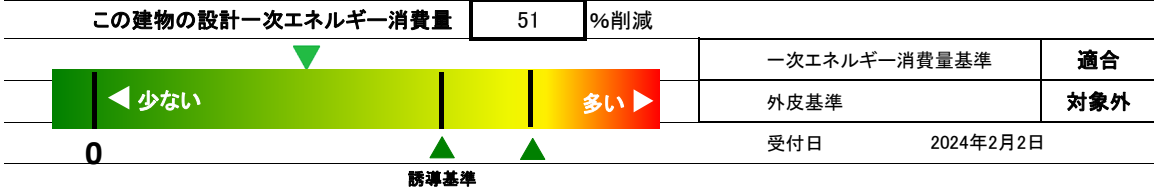
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 吉原小学校 建替工事

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 5

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI<sub>m</sub>=0.63

③BEI<sub>m</sub>=0.49

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

##### ■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩500lx ≤ [照度] < 750

⑪自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上

##### ■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

指定施設整備基準のみを満たしている。

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯日本住宅性能表示基準「3.劣化の軽減に関すること」で等級2相当。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.0

吉原小学校 建替工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>									<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>					<b>3.2</b>	0.15	-	-	<b>3.2</b>
1.1 騒音					3.0	0.40	-	-	-
1.2 遮音					3.6	0.40	-	-	-
1 開口部遮音性能					5.0	0.30	-	-	-
2 界壁遮音性能					3.0	0.30	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	0.20	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	0.20	-	-	-
1.3 吸音					3.0	0.20	-	-	-
<b>2 温熱環境</b>					<b>2.0</b>	0.35	-	-	<b>2.0</b>
2.1 室温制御					3.0	0.50	-	-	-
1 室温					快適・働きやすさ	3.0	0.60	-	-
2 外皮性能					快適・働きやすさ 健康・安心	3.0	0.40	-	-
3 ソーン別制御性					-	-	-	-	-
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式					1.0	0.30	-	-	-
<b>3 光・視環境</b>					<b>3.8</b>	0.25	-	-	<b>3.8</b>
3.1 昼光利用					4.2	0.30	-	-	-
1 昼光率					5.0	0.60	-	-	-
2 方位別開口					-	-	-	-	-
3 昼光利用設備					3.0	0.40	-	-	-
3.2 グレア対策					4.0	0.30	-	-	-
1 昼光制御					4.0	1.00	-	-	-
3.3 照度					4.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-	-
<b>4 空気環境</b>					<b>4.0</b>	0.25	-	-	<b>4.0</b>
4.1 発生源対策					4.0	0.50	-	-	-
1 化学汚染物質					4.0	1.00	-	-	-
4.2 換気					3.3	0.30	-	-	-
1 換気量					3.0	0.33	-	-	-
2 自然換気性能					4.0	0.33	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.33	-	-	-
4.3 運用管理					5.0	0.20	-	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視					-	-	-	-	-
2 喫煙の制御					5.0	1.00	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>					<b>-</b>	<b>0.30</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>					<b>3.3</b>	0.40	-	-	<b>3.3</b>
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	-	-	-
1 広さ・収納性					快適・働きやすさ	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応					快適・働きやすさ	-	-	-	-
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性					4.0	0.30	-	-	-
1 広さ感・景観					3.0	0.50	-	-	-
2 リフレッシュスペース					3.0	-	-	-	-
3 内装計画					5.0	0.50	-	-	-
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>					<b>3.1</b>	0.30	-	-	<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性					防災	3.0	0.80	-	-
2 免震・制振性能					防災	3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数					3.6	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数					防災	4.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					防災	3.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					防災	3.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					防災	3.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					防災	5.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔					防災	3.0	0.20	-	-
2.4 信頼性					3.0	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備					防災	3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備					防災	3.0	0.20	-	-
3 電気設備					防災	3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法					防災	3.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備					防災	3.0	0.20	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>3.2</b>	0.30	-	-	<b>3.2</b>
3.1 空間のゆとり					3.4	0.30	-	-	-
1 階高のゆとり					3.0	0.60	-	-	-
2 空間の形状・自由さ					4.0	0.40	-	-	-
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30	-	-	-
3.3 設備の更新性					3.4	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性					5.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性					5.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2022年版v.1.0

吉原小学校 建替工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-	-			2.3
1	生物環境の保全と創出		⑧生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-			2.0
2	まちなみ・景観への配慮		⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-			2.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		⑩地域性への配慮	3.0	0.50	-	-			-
3.2	敷地内温熱環境の向上		⑪敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-			-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-			3.7
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-			4.3
1	建物外皮の熱負荷抑制		①建物熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-			5.0
2	自然エネルギー利用		②自然エネルギー利用	2.0	0.10	-	-			2.0
3	設備システムの高効率化		③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-			5.0
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-			3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-			-
4.1	モニタリング		④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2	運用管理体制		④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
	集合住宅の評価			-	-	-	-			-
4.1	モニタリング		④効率的運用	-	-	-	-			-
4.2	運用管理体制		④効率的運用	-	-	-	-			-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-			3.4
1	水資源保護			3.5	0.20	-	-			3.5
1.1	節水			4.0	0.40	-	-			-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-			-
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-			-
2	雑排水等利用システム導入の有無			4.0	0.30	-	-			-
2	非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-			3.5
2.1	材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-			-
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-			-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-			-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			4.0	0.20	-	-			-
2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-			-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-			-
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-			3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-			-
3.2	フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-			-
1	消火剤			-	-	-	-			-
2	発泡剤(断熱材等)			4.0	0.50	-	-			-
3	冷媒			3.0	0.50	-	-			-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-			3.2
1	地球温暖化への配慮			3.8	0.33	-	-			3.8
2	地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-			2.9
2.1	大気汚染防止			3.0	0.25	-	-			-
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-			-
2.3	地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-			-
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-			-
2	污水处理負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
3	交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
4	廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-			-
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-			3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-			-
1	騒音			3.0	1.00	-	-			-
2	振動			-	-	-	-			-
3	悪臭			-	-	-	-			-
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-			-
1	風害の抑制			3.0	0.60	-	-			-
2	砂塵の抑制			3.0	0.20	-	-			-
3	日照障害の抑制			3.0	0.20	-	-			-
3.3	光害の抑制			3.0	0.20	-	-			-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-			-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-			-
<b>上記以外の重点項目</b>										
<b>&lt;事務用途&gt;</b>										
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-			-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>										
<b>健康と安心</b>										
1	化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-			-
2	適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-			-
3	結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-			-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-			-